

いっぱいの縁にかこまれた〈文庫〉の小部屋のあるおうちで  
書くのが好きになる  
学ぶのが楽しくなる

# 音読こくご塾

夏休み特別集中ワークショップ

「楽しく書く」作文（宿題）・小論文対策

2017年8月15日（火）・16日（水）

午前9時半～12時半（午後3～5時にも自習の場を開きます）

学びは楽しさのなかから生まれます。楽しさは身体のなかから生まれます。

真の知性は身体性と密接に結びついているのです。

声をとおしてからだを見、からだをとおして自分のほんとうを知り、自分自身の表現を見つけましょう。

小手先のテクニックではない、自分にしかできない表現を、

身体性と表現の関係性を熟知した、プロの文筆家が指導します。

対象◎ 小学1年生～高校3年生

会場 ◎ 三鷹市大沢5丁目13-6（栗山宅）

※大沢家庭文庫の関連イベントではありません。

参加費◎1日のみ 4500円／2日間 8000円

主催◎つなぐ環 ch（栗山のぞみ）

協力◎音読療法協会 [www.voicetherapy.org](http://www.voicetherapy.org)

お申し込み@tsunaguwach@gmail.com

または 090-1702-0141（栗山）へ

過去開催時記事が読めます



2016年



2014年

塾長・講師：水城ゆう（みづき・ゆう）

作家、音楽家、朗読演出家。NPO法人現代朗読協会代表。音読療法協会オーガナイザー。京都でジャズトリオを率いてバンド活動、地元・福井県のラジオ、テレビ局で番組司会、構成作家等を務めた後、1986年に徳間書店よりSF冒險小説で小説家デビュー。ピアノの即興演奏家としてカルメン・マキ、鈴木重子、酒井俊らと共に。番組制作者・現代朗読演出家として千人超の実演家の観察・指導の経験から音読療法を確立、セラピスト養成の傍ら学校・被災地・カフェ等で指導・サポートを行う。小説のほか「共感的コミュニケーション入門編」「音読療法の基礎」「音読・群読エチュード」「水城式ジャズの聴き方」など著書多数。

講師：野々宮卯妙（のみや・うたえ）

20年にわたり雑誌、PR誌、単行本等の執筆・取材・編集に携わる。著書に「親子で遊ぼう！はじめてパソコン」（ブックマン社）、「ママとキッズのパソコンブック」（主婦の友社）等。詩人としてポエトリースラムジャパン（詩人の朗読コンテスト日本大会）2015に出場、ファイナリストに。朗読家としてカルメン・マキ他音楽家らとの共演をはじめ公演・ライブ出演多数。共感的コミュニケーション（NVC）ファシリテーターとして全国各地で講師を務める。音読療法士として音読療法を使ったメンタルケア・介護予防ワーク等を行う。日本平和学会員。慶應義塾大学法学部政治学科卒。